

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
<p>1 実践1 【性的マイノリティについて】</p>	<p>性的マイノリティを理由として社会の中で偏見の目にさらされたり、職場で昇進を妨げられたり、学校生活でいじめられたりするなどの人権問題が発生している。LGBTQ について8月に全職員を対象に研修を、11月に6学年対象に授業を行った。動画教材を活用し、LGBTQ への差別や偏見をなくすことを目的とした。実際に LGBTQ の当事者が抱える問題や悩みを聞くことで LGBTQ を自分たちの身近な問題として捉えられるようにした。また6年生は、進学にあたり制服などの問題や男女差別のない学校生活を送れるように理解を図った。</p> <p>成果 LGBTQ の当事者が身近にいるかもしれないことを認識することができた。何気ない一言が大きな傷をつくったり、時には命まで奪ってしまうことがあったりすることを知り、言動に気を付けようという感想を職員や児童から多く聞くことができた。</p> <p>課題 職員、児童に LGBTQ の当事者が身近にいる認識が少ないことがわかった。今回は児童の対象は6年生のみであったが、今後は児童の発達段階を考慮したうえで、他学年にも周知していく必要があると感じた。</p>
<p>2 実践2 【いじめゼロ月間】</p>	<p>11月1日から11月22日を「いじめゼロ月間」とした。児童集会としていじめゼロ集会を全校で行い、全児童による投票で決めたいじめをなくすためのスローガンを発表したり、校長や生徒指導担当からいじめとはどんなことなのか、だれもが楽しい学校生活を送れるようにするにはどうしたよいかを話した。給食時の校内放送には、いじめ防止を目的にした大沼小オリジナルの曲を放送した。また、今年度も「いじめゼロ宣言～ぼく・わたしはこうします～」を実施した。個人や各学級で考えることで、全校児童でいじめについて考え、一人一人がいじめゼロを目指していこうとする気持ちを育てることをねらいとした。</p> <p>成果 いじめゼロ宣言では、1人1人がいじめゼロに向けて気を付けたいことや実践してどうだったかを振り返ることができた。また、掲示することで、自分だけではなく友達の様々な思いや考えがあることを知ることができた。さらに、いじめゼロ集会を行ったことで、全校児童に今気を付けてほしいこと、実践してほしいことを共有することができた。</p> <p>課題 「いじめゼロ月間」に限らず、継続していじめゼロを意識できようように道徳や学活等での内容を工夫していきたい。また、学校だけではなく保護者や地域の方にもお便りなどで取り組みを発信し、みんなで温かい学校づくりをしていきたい。</p>